

RICOH Value Presentation 2024 1.0

DX & GX ~AI “変化を味方にする次の一手”

開催期間 7月1日(月) 9:30 ~ 7月19日(金) 17:30

開催形式 オンライン

リコージャパン最大のオンラインイベントにぜひ参加ください



下記URLまたはQRコードより事前申込をお願いいたします
<https://vpre.ricoh.co.jp/1.0/>

紹介者コード 21186997

紹介企業/パートナー
コード BP010749

お客様各位

DXという言葉がよく聞かれるようになってから数年、
その解釈や実践はさまざまであり、まだ多くの日本企業は
国際競争力や生産性の向上に悩んでいます。

一方で、生成AIといった新しいテクノロジーの活用、
グリーントランスフォーメーション(GX)といったビジネス界が
取り組むべき地球規模の環境問題など、企業としての課題は
ますます増加、そして多様化しています。

DXの実現に向けて様々な試みを実践しながら、AIなどの新しい
技術とサステナブルな社会に向かうGXという大きな変化を
味方につけ、新しいビジネスに進化させるための次の一手は
どういったものなのか。

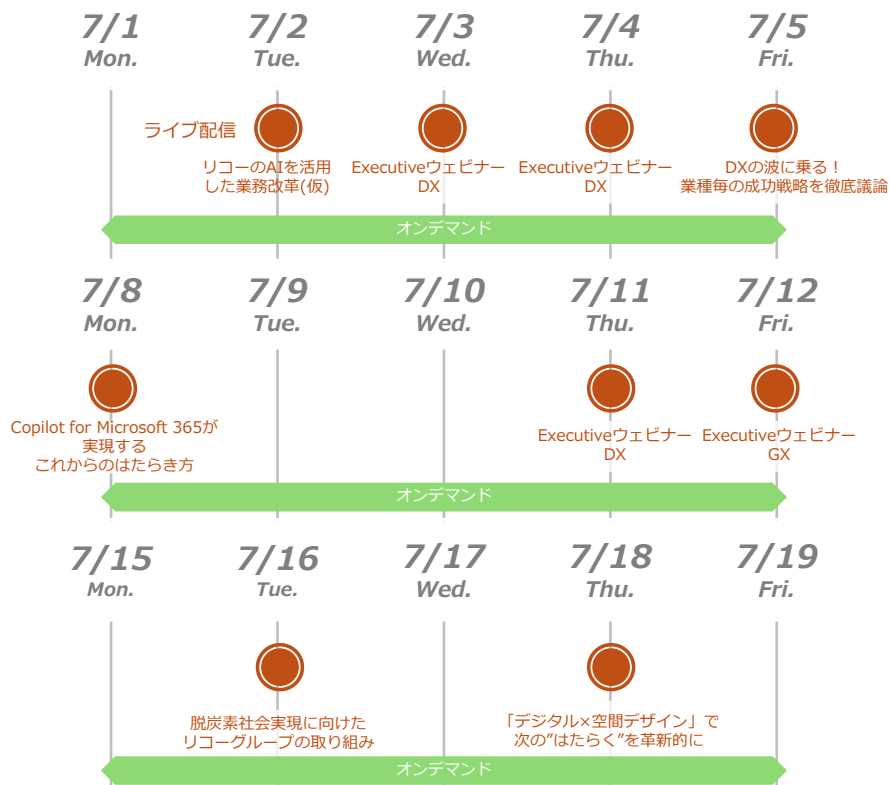
RICOH Value Presentation 2024では、リコーグループの取り組みや
これまで全国のお客様に提供してきた価値をもとに、
みなさまが抱える現在の課題への解決策、これから起こる変化へ
どう適応すれば良いのか、そのキーポイントをお伝えいたします。

今と未来の“はたらく”に歓びを。

RICOH Value Presentation 2024 1.0

DX & GX ~AI “変化を味方にする次の一手”

7月1日から19日まで3週間の間に9回のライブ配信と、期間中いつでも視
聴できるオンデマンドのコンテンツをお楽しみください。



本誌に掲載の内容は変更となる可能性があります。最新情報は公式サイトからご確認ください。

やっぱり足元から！
アナログ→デジタルをもう一度見直そう

DXの“今”と明日から使える
ソリューションが集結！

DX

Digital Transformation



ライブ配信

下記のコンテンツは、ライブ配信にて開催いたします。参加登録のうえ各開催日時にご参加ください。

7月3日(水) Executiveウェビナー : DX

E-01 13:00~14:00

Executive

DX

[Executiveウェビナー] DX推進を加速する組織・人材の成功パターン： 政策担当官による成功パターンの分析

経済産業省が指摘した「2025年の崖」問題を解決することの本質は、ITシステムを刷新することではなく、企業の競争力強化や新たな価値創出のための取り組みを加速することにあります。しかしながら、DX推進として何に取り組むべきか、明確でない企業・経営者も少なくありません。そこで、DXレポートから産業DX、デジタルライフライン、ウラノス・エコシステムまでの政策に従事した担当官の視点・経験から、先行する事例を俯瞰・分析した結果として、成功する組織・人材における一定の共通点についての仮説を紹介いたします。



和泉 憲明 氏

経済産業省
商務情報政策局 情報経済課 アーキテクチャ戦略企画室長
平成8年12月 静岡大学情報学部 助手、平成14年4月 産業技術総合研究所（産総研）サイバーアシスト研究センター・研究員、産総研・情報技術研究部門・上級主任研究員などを経て平成29年8月 経済産業省商務情報政策局情報産業課企画官、令和2年7月より現職。
博士（工学）（慶應義塾大学）

7月4日(木) Executiveウェビナー : DX

E-02 13:00~14:00

Executive

DX

[Executiveウェビナー] 経営者思考 すべての社員が実践する“7つ”のリーダーシップ

先行き不透明な時代、経営者やリーダーには「決断」が求められます。なかでも最大の決断が投資ですが、多くの企業ではいまだにDX投資に対する決断が進んでいません。そもそもDXの本質は何か、それは社会課題の解決です。つまり、デジタルの前にまずはトランスフォーメーション（変革）があり、それを実現する手段の一つがデジタルなのです。本講演では、自社は何をもちて社会課題を解決するのか、そして何に投資をするのか。この経営者思考のヒントについて、コンサルティングファームの視点でお伝えいたします。



若松 孝彦 氏

株式会社タナベコンサルティンググループ
代表取締役社長

日本における経営コンサルティングのバイオニアとして、約700名のプロフェッショナルを有するタナベコンサルティンググループの代表。社長就任後の2016年9月に東証一部（現プライム市場）上場を実現し、2022年にホールディングス体制へ移行。経営コンサルタントとしても大企業から中堅企業まで約1000社の実績をもち、独自の経営理論で全国のファーストコールカンパニーから多くの支持を得ている。

7月11日(木) Executiveウェビナー : DX

E-04 13:00~14:00

Executive

DX

[Executiveウェビナー] 荏原製作所のDXの取り組み ～DXによるグローバル一体経営の推進

荏原グループでは、グローバル企業として発展するために、全社をあげてDXによる「企業風土の改革」「業務の効率化」「組織やビジネスモデルの変革」を進めています。さらに、国際的な経営からグローバル経営への転換のために、経営～業務部門～IT部門が一体となり、基幹システムを含めた情報基盤のグローバル化を推進しています。今回は、荏原グループの企業変革への挑戦についてご紹介いたします。



小和瀬 浩之 氏

株式会社 荏原製作所
執行役 CIO（情報通信担当）

1986年4月、花王入社。同社情報システム部門グローバルビジネスシンクロナイゼーション部長を経て、2012年10月同部門統括。
2014年1月にLIXIL入社、執行役員IT推進本部長。同年4月からCIOを兼務。2015年12月から上席執行役員CIO兼情報システム本部長。
2018年12月、荏原製作所入社。2019年4月より情報通信統括部長。
2020年3月より執行役、2023年1月より現職。「日経クロステックが選ぶ CIO/CDO オブ・ザ・イヤー2023」の大賞を受賞。

やっぱり足元から！
アナログ→デジタルをもう一度見直そう

DXの“今”と明日から使える
ソリューションが集結！

DX

Digital Transformation



ライブ配信

下記のコンテンツは、ライブ配信にて開催いたします。参加登録のうえ各開催日時にご参加ください。

7月5日(金) DXの波に乗る！業種毎の成功戦略を徹底議論

D-01 DX 13:00~13:40

D-01~03は、下記の4名にてお送りいたします。

『改正建築物省エネ法』に対応する業務改善と 売上拡大に繋がる提案をお届けします

建設業のお客様に見ていただきたい！建設業のトレンド、『改正建築物省エネ法』と必要になる対応について詳しく解説。そこからさらに業務改善や売上拡大を実現できる提案は？と様々なソリューションとエッジデバイスを組み合わせ、複合機で実現できる業務改善について、リアルタイムで視聴者とコミュニケーションを取りながら、リコージャパン社員が熱く議論します！



村上 留奈氏
株式会社カタルチア
制作・アナウンサー

D-02 DX 13:50~14:20

『令和6年介護報酬改定』に対応する業務改善と 企業価値向上の提案をお届けします

福祉業のお客様に見ていただきたい！福祉業のトレンド、『令和6年介護報酬改定』と必要になる対応について詳しく解説。そこからさらに業務改善や売上拡大を実現できる提案は？と様々なソリューションとエッジデバイスを組み合わせ、複合機でできる業務改善について、リアルタイムで視聴者とコミュニケーションを取りながら、リコージャパン社員が熱く議論します！



林 拓也
リコージャパン株式会社
デジタルサービス企画本部 PP事業部
マーケティング推進室
プロモーショングループ
リーダー

D-03 DX 14:30~15:00

『製造業の販路拡大』に伴う業務の改善提案をお届けします

製造業のお客様に見ていただきたい！製造業のトレンド、『販路拡大』と『営業活動』について詳しく解説。そこからさらに業務改善や売上拡大を実現できる提案は？と様々なソリューションとエッジデバイスを組み合わせ、複合機で実現できる業務改善について、リアルタイムで視聴者とコミュニケーションを取りながら、リコージャパン社員が熱く議論します！



吉武 龍二
リコージャパン株式会社
デジタルサービス企画本部
オフィスプリンティング事業センター
CX推進室 CATセンター



岡田 和樹
リコージャパン株式会社
デジタルサービス企画本部
オフィスプリンティング事業センター
ドキュメントソリューション企画室
ドキュメントソリューショングループ

7月18日(木) 「デジタル×空間デザイン」で次の“はたらく”を革新的に

D-04 DX 13:00~13:30

リコーのワークスタイルコンセプト 『RICOH Smart Huddle』とは？

私たちは人にやさしいデジタルで、はたらく場のあらゆるモノ・情報・人が“つながる”社会を創ることを目指しています。
はたらく場所も働き方も多種多様になり、個が尊重される時代で、新しい価値や創造は『対話・コミュニケーション=“つながる”』ことから生まれます。誰もがカンタンに“つながる”はたらく場や、新たな働き方に導く空間デザインなど、リコーならではのオフィスづくりについてお話しいたします。



原田 尚
リコージャパン株式会社
デジタルサービス企画本部
スマートコミュニケーション企画センター
センター長

D-05 DX 13:40~14:20

“つながる”オフィスでの働き方を大公開！ 課題解決のヒントをご紹介します

リコージャパンのLiveOffice ViCreAにおける『RICOH Smart Huddle』の社内実践事例をご紹介します。そこで働く社員の生の声を交え、働き方や意識がどう変わったのか、そしてそれらがどのような課題解決に繋がったのかをお伝えいたします。



熊谷 寛子
リコージャパン株式会社
デジタルサービス企画本部
スマートコミュニケーション企画センター
スマートハドル企画室
スマートハドル営業・PMグループ

やっぱり足元から！
アナログ→デジタルをもう一度見直そう

DXの“今”と明日から使える
ソリューションが集結！

DX

Digital Transformation



D-08

DX

活用が進むクラウドサービス！ 複数SaaSアプリケーション導入後に必要な対応とは？

クラウドサービス導入比率は年々拡大しています。特に導入・運用が楽にできるSaaSアプリケーションは各社から様々なラインナップが出てきており、1社で複数のSaaSアプリケーションを導入する企業が増えています。今後更に増加するSaaSアプリケーション導入後に発生する、人に紐づく働き方の課題やセキュリティリスク、情シス担当者に生じる新たな業務負荷についてご紹介すると共に、解決のヒントとなる対応内容について提案いたします。



小屋 大輔

リコージャパン株式会社
デジタルサービス企画本部
EDW企画センター
EDW戦略室
室長

D-11

DX

現場業務のDXに向けた一歩へ 「紙」を活用した手書き文書のデジタル化

お客様が働く「現場」では、日報や報告書など多種多様な紙が存在します。「現場の紙があるから業務のデジタル化が難しい」とお考えではないでしょうか。実際、現場業務においては、紙をシステムに置き換えることは様々な理由で困難が伴います。このウェビナーでは、使い慣れた紙をそのまま活用し手書き文字をデータ化できるソリューションをご紹介します。従業員の手を煩わせずに業務効率を向上でき、また現場で起きていることをいち早く可視化することが可能です。現場でお仕事をされている方、是非ご視聴ください。



嶽 一絵

リコージャパン株式会社
デジタルサービス企画本部
スクラム企画センター
スクラム企画室
働き方改革グループ

オンデマンド

下記のコンテンツは参加登録をさせていただくことで期間中いつでもお好きなときにご視聴いただけます。

D-06

DX

セキュリティ被害急増！防ぎきれないサイバー攻撃の対処法 ～被害最小化のための効果的なセキュリティ対策～

デジタルトランスフォーメーション（DX）により、企業のデジタル化が急速に進展する一方で、ネットワークセキュリティの脅威も同様に増加しています。本ウェビナーでは、主に中小企業向けのお客様へその脅威に対処し、ビジネスを継続させるうえで重要な手段となる多層防御の再確認と多様化・巧妙化し防ぎきれないサイバー攻撃に対し、侵入された後の事後対応に焦点を当てた対策ソリューションについてご紹介いたします。

D-07

DX

サイバーセキュリティ脅威のトレンドと運用管理サービスのご紹介 ～SOCがセキュリティ対策の要！～

企業を狙うサイバー攻撃が後を絶ちません。サイバーセキュリティ対策を構築・強化することが企業や組織に求められています。日々高まるサイバーセキュリティ脅威の最新動向を、攻撃の様子がわかるデモを交えながら解説。被害を未然に防ぐ対策と、SOC(Security Operation Center)が24時間365日の運用代行でお客様の運用負荷軽減とセキュリティ人材不足の解消に役立つサービスをリコー x PFUがご紹介いたします。

D-09

DX

Afterインボイス・電子帳簿保存法！ 制度対応で発生した、あるある課題を解決する方法とは？

インボイス制度や電子帳簿保存法の施行から半年以上が経過しましたが、制度対応に伴って業務負担が大きくなり、時間外労働の増加や月次決算の遅れに頭を悩ませる企業が増えているのが現状です。これらの制度対応は一過性のものではないため、制度対応も含めた運用の再設計が急務となっています。そこで本ウェビナーでは、目の前の業務課題である“Afterインボイス・電帳法あるある”を解決するヒントとして、請求書業務の効率的な運用方法やITサービスの活用についてご紹介いたします。



田村 りつ子

リコージャパン株式会社
デジタルサービス企画本部
EDW企画センター
バックオフィス戦略室
トレード帳票DX企画グループ

D-12

DX

Windows10サポート終了まで約1年！ ～今からはじめるPC買い替え準備と効果的な運用管理のご紹介～

2025年10月14日のWindows10延長サポート終了に伴い、Windows11への買い替え需要が拡大する中、PCの最新トレンド情報と、PCの買い替えに向けて今からはじめる準備のポイントや注意点をご紹介いたします。ITご担当者の業務負荷を軽減し本来の業務に注力していただくために、買い替え時に発生する調達や導入計画の策定、導入後の運用から次の買い替えまでを見据えたPCライフサイクルをワンストップでご提案いたします。



庄田 将典

リコージャパン株式会社
デジタルサービス企画本部
マネージドサービスセンター
企画室
マネージドインフラグループ



高木 正和

リコージャパン株式会社
デジタルサービス企画本部
ICT事業センター OSO戦略室
ITプラットフォームグループ



佐藤 英成

リコージャパン株式会社
デジタルサービス企画本部
EDW企画センター
アプリケーション戦略室
情報アプリケーショングループ

D-13

DX

もう失敗しない！NEXT GIGAに求められるICT環境と 授業デザインのポイント

第1期GIGAスクール構想により整備された1人1台の学習者用PC。「効果的な活用が進まない…」という声はまだ聞かれる実情を踏まえ、問題（失敗！）を解決する方向性をご提案。学習効果の向上や教育DXを実現し、NEXT GIGAを成功させるポイントをお伝えいたします。



田中 康平 氏

株式会社NEL&M
代表取締役



田中 洋平

リコージャパン株式会社
デジタルサービス企画本部 ICT事業センター ITサービス企画室
ネットワークセキュリティグループ



小出 和弘

株式会社PFU
インフラカスタマサービス事業本部
第一インフラマネージドサービス事業部 ネットワークセキュリティ部
セキュリティエキスパート



柿原 健一

リコージャパン株式会社
デジタルサービス企画本部 マネージドサービスセンター
企画室 マネージドセキュリティグループ

D-10

DX

Ricoh kintone plusでカンタンDX！ ～誰でも簡単に業務アプリを作れて業務効率UP～

DXの取り組みは上手く進んでいますか？紙や表計算ソフトからの脱却をもっと効果的に促進させたい、kintone®をもっと有効活用したい、そうしたお悩みをRICOH kintone plus が解決します。こちらのウェビナーではデータの有効活用や一元管理ではたらき方をアップデートする方法を、RICOH kintone plusのオリジナル機能中心にご紹介いたします。

7月12日(金) Executiveウェビナー : GX

E-05

Executive

GX

13:00~14:00

[Executiveウェビナー] 我が国気候変動対策の最新動向

2050年ネット・ゼロの実現に向け、エネルギー安定供給・脱炭素・経済成長の同時達成を目指すGX（グリーントランスフォーメーション）の取り組みが進められています。新たなNDCや地球温暖化対策計画等の見直しに関する議論もスタートする時期に来ており、足元の対策強化が急務となっています。本講演では、COPを始めとする国際動向を含め、政府全体の政策展開、環境省が取り組む地域と暮らしの脱炭素など、我が国における気候変動対策の最新動向についてご紹介いたします。



吉野 議章 氏

環境省
地球環境局 地球温暖化対策課
課長

1997年環境庁入庁。大臣官房総務課広報室長、環境再生・資源循環局放射性物質汚染廃棄物対策室長、内閣官房内閣参事官を経て、2023年7月より現職。

まずは知ることから！
なぜ？ なに？ をリコーとともに

環境問題に長年取り組むリコーが
GXの道筋を明かす！

GX

Green Transformation



7月16日(火) 脱炭素社会実現に向けたリコーグループの取り組み

G-01

GX

14:00~15:00

事業成長を目指すリコーのESG戦略 ～脱炭素・サーキュラーエコノミー（CE）時代を 見据えて～

リコーでは、1998年に世界に先駆け「環境経営」を提唱し、20年以上にわたり「環境保全と利益創出の同時実現」に取り組んでいます。この取り組みを土台に、今中経からは「ESGと事業成長の同軸化」を方針に掲げ、サステナビリティの取り組みをさらに強化しています。本ウェビナーでは、ESGの経営システム統合と環境への取り組みを中心に、ESGと事業成長の同軸化についてご紹介させていただきます。



鈴木 美佳子

株式会社リコー
コーポレート執行役員 ESG・リスクマネジメント担当
ESG戦略部 部長

G-02

GX

15:10~16:00

脱炭素経営 その実現のために ～脱炭素の取り組みによる企業価値向上～

世界共通の課題である温暖化防止に向けた脱炭素への取り組みは、企業規模にかかわらず喫緊の課題となっています。本ウェビナーではご導入いただいた脱炭素ソリューション導入事例や自治体との連携協定、リコーグループの社内実践のご紹介と脱炭素の取り組みに対する財務・非財務への影響についてお話しさせていただきます。



大塚 哲雄

株式会社リコー
リコー経済社会研究所 研究企画室
エキスパート

オンデマンド

下記のコンテンツは参加登録をしていただくことで期間中いつでもお好きなときにご視聴いただけます。

G-03

GX

脱炭素のすゝめ ～始めませんか、脱炭素経営～ 脱炭素経営の取り組みSTEPのご紹介

昨今、地球温暖化やエネルギー価格高騰などに対して、各企業様での対応が急務となっています。その様な状況の中、なぜ脱炭素経営に取り組まなければならないのか、まずは何から進める事ができるのか、その取り組みSTEPをリコーグループの脱炭素社内実践やソリューション事例を交えてご紹介いたします。



清水 洋岐

リコージャパン株式会社
パブリックサービス本部 スマートエネルギー事業部
脱炭素ソリューション企画室
室長

G-04

GX

脱炭素のすゝめ ～始めませんか、脱炭素経営～ 環境に配慮した働き方改革のご紹介

脱炭素に取り組んでいかなければならないと感じているが、「何から取り組めば良いかわからない」、「取引先から要求されている」などのお困りごとをお持ちではないでしょうか？
環境負荷を低減した複合機の活用や、働き方改革などの身近な改善から一歩を踏み出し、脱炭素経営で企業価値向上を目指しませんか？



安藤 爽

リコージャパン株式会社
デジタルサービス企画本部 スクラム企画センター
スクラム企画室 働き方改革グループ

実感することから！
仕事は実際どう変わるのか、実感しよう

実際、何ができるの？
がわかるユースケースが満載！

AI

Artificial Intelligence



オンデマンド

下記のコンテンツは参加登録をさせていただくことで期間中いつでもお好きなときにご視聴いただけます。

A-04 AI

**生成AI 検索拡張生成(RAG)活用の課題と
解決のポイント**
～組織業務適応と全社DX加速へ～

企業での生成AIの導入検討・試行が進む中、ユーザーの質問の意味を理解し、事前に登録した業務文書から回答に必要なデータを取得した上で、AIが回答を生成する検索拡張生成(RAG)が注目を浴びています。ただし、実際の業務に適用し生産性を向上させるためには、乗り越えるべき課題がいくつかあります。本講演では、幅広い用途で組織内の「業務ナレッジ」を利用でき、企業活動を積極的に加速するリコーの生成AIサービスの紹介を交え、生成AI(RAG)活用の課題解決のポイントを深堀します。



鷹濱 幸治

リコージャパン株式会社
デジタルサービス企画本部
AIソリューションセンター 販売統括室
販売計画グループ
リーダー

A-05 AI

**Copilot for Microsoft 365 で変わる働き方
～社内事例から学ぶ、ビジネスを変える
副操縦士～**

Copilot for Microsoft 365は、あなたの業務をサポートするあなたの専属のAIアシスタントです。本ウェブナーでは、Microsoft 365 Appsに統合された Copilot [Copilot for Microsoft 365] について、実際のビジネスシーンでどのように活用されているのか、弊社の活用事例をおとして掘り下げます。使い始めるために必要なライセンスや導入における注意点なども解説いたします。あなたの働き方を変える Copilot for Microsoft 365の実力を感じてください。



磯田 陽香

リコージャパン株式会社
デジタルサービス企画本部 EDW企画センター
アプリケーション戦略室
マイクロソフトグループ

A-06 AI

**生成AIを連携させたチャットボットの
使いこなし方法をご紹介します！**

生成AIは、人間が作ったデータやルールを基に新しいコンテンツを自動生成する技術です。リコーグループでは、この技術を活用したチャットボットをサービス展開しています。従来、チャットボットは、お問い合せの自動回答に限られていたが、生成AIの発展により用途が広がっています。本ウェブナーでは、①生成AIを活用することで、FAQ作成の手間を省き、業務シナリオに基づいた迅速なお問い合わせ対応を可能にする事例 ②プロンプト作成の手間を省き、生成AIを業務で使いこなせるセキュアな環境を構築した事例についてご紹介いたします。



木村 佳緒莉

リコージャパン株式会社
デジタルサービス企画本部
AIソリューションセンター
ソリューション戦略室
データビジネス企画グループ

A-07 AI

**アドビ生成AIで変わる！新しいクリエイティブ
～SNSから店頭販促印刷まで～**

様々なビジネスジャンルで登場するようになった生成AI。クリエイティブシーンでも、アドビが提供する生成AI「Adobe Firefly」が、SNS投稿やWeb/バナーなどライフサイクルの短い制作物に追いつく。販促部門の制作環境を大きく変える可能性を秘めています。では実際にどのような作業に活用すると効果があるのか？活用にあたって制作管理者が押さえておくべきポイントは？本講演では、アドビで長年にわたる大手ユーザーサポートに従事してきた近藤氏に登場いただき、そのエッセンスを語っていただきます。



近藤 祐爾氏

アールケー・アート&デザイン合同会社
代表

ライブ配信

下記のコンテンツは、ライブ配信にて開催いたします。参加登録のうえ各開催日時にご参加ください。

7月2日 (火) リコーのAIを活用した業務改革 (仮)

A-01 AI 13:00～14:00

リコーが考えるビジネスでのAI活用と今後の動向 (仮)

ChatGPTの誕生によって急激に期待値が上がった「生成AI」は、自社の業務効率化、生産性向上に「革新的」なアプローチをもたらすと言われてきました。このような流れから、AIを活用した業務改革の推進を迫られているお客様より、リコージャパンにも多くの相談をいただいています。本セッションでは、技術/市場の動向やお客様との対話を通して得た生成AIの自社業務改革への活用のヒントと今後の生成AIの動向などをお伝えします。



梅津 良昭

株式会社リコー
リコーデジタルサービスBU
AIインテグレーションセンター
所長



児玉 哲

リコージャパン株式会社
デジタルサービス企画本部
AIソリューションセンター
センター長

7月8日 (月) Copilot for Microsoft 365が実現するこれからのたらしき方

A-02 AI 15:00～16:10

生成AIの最前線～見えてきた活用例とその定量効果、課題～

本講演では、最新の生成AIの現状とMicrosoftの戦略について紹介します。Copilotのリリースから現在までの状況、生成AIの導入が進む業種や業界の状況をお伝えします。また、CopilotおよびMicrosoft 365向け Copilotの具体的な活用事例と、その定量効果について事例を交えて解説します。さらに、生成AIの活用における課題とその対応策、そして今後のロードマップについても解説をいたします。

A-03 AI 16:20～17:05

**生成AIで進化する“はたらく”のカタチ
～Copilot・AI活用の最適解とリコーの取り組み～**

2023年は「生成AI元年」と呼ばれるにふさわしく、世の中に劇的な変化をもたらしました。今、生成AIは着実に進化し、業務で「使える」技術となり、私たちの“はたらく”のカタチも大きく進化しています。本セッションではMicrosoftよりリリースされたCopilotを中心に、リコーグループがどのようにこれらを活用し、業務革新を進めようとしているのかをご紹介します。さらに、リコーグループが持つ技術と融合したデータドリブンな“はたらく”の次のステップのヒントもお話しいたします。



西脇 資哲氏

日本マイクロソフト株式会社
エバンジェリスト・業務執行役員



福島 直人

リコージャパン株式会社
デジタルサービス技術本部
クラウドビジネス事業部
首都圏第一クラウドソリューション部
部長

RICOH

imagine. change.

<https://vpre.ricoh.co.jp/1.0/>

イベントサイトの推奨環境 | Webブラウザ・携帯電話（スマートフォン）・パソコン・タブレットで利用可能
サポートバージョン | Android[®] version 6 +, iOS version 13 +
サポートブラウザ | Chrome, Firefox[®], Safari, Microsoft Edge (IEモードを除く) 最新版

※上記ブラウザが動作する環境であればPC OSのバージョンは問いません。

※Internet Explorerは対象外となります。

- ・QRコードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- ・kintone はサイボウズ株式会社の登録商標です。
- ・Windows、Microsoft、Microsoft 365、Microsoft Edgeは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・Adobeは、Adobe Incorporatedの米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- ・AndroidはGoogle LLC.の商標です。
- ・Firefoxは、Mozilla Foundationの登録商標です。
- ・iOSは、米国およびその他の国における商標またはシスコの登録商標であり、ライセンスのもとに使用されます。
- ・本誌に掲載のその他の会社名および製品名、ロゴマークは各社の商号、商標または登録商標です。